

KINO 徒然通信

2024. 12

THEATER
KINO

みなさまへ

12月に入りあつと言う間に雪景色に、クリスマスもまもなくですね。

新しいムービーラインナップ147号、表紙は「お坊さまと鉄砲」。

ブータンで初めての選挙。徳の高いお坊様が「次の満月までに銃を2丁用意せよ」と若い僧に。「なぜ銃？」…それは見てのお楽しみ。変わりゆく世界で大切にとどめておきたいこと、そんな幸せをお届けします。

「こまねこ」が誕生して20周年、今年10分の新作が生まれました。「きっかけはウクライナ侵攻が始まって、お父さんは国に残り、お母さんと子供たちは国を出て非難する。その時の映像で、子どもが大事そうにぬいぐるみを抱えている姿を見て、子どもにとって一番大事なものはなんだな と思いました。こまちゃんにとって一番大事なものは？ そんなところから『こまちゃんのかいがいりょうこう』が生まれました」と合田監督。12月21日は上映後に監督トーク「こまねこができるまで」。

「にゃニャ にゃにゃ〜ん♪」こまちゃんのねこ語がうれしいです。

猫つながりでお正月には人口53万人、野良猫100万匹という、猫と共に生きる唯一無二の文化が人を育てる、奇跡の島・マルタ共和国へ。眺めているだけでしあわせです。

「猫は愛を教えてくれる。寿命も伸ばしてくれる。猫は命をくれるの」とおばあさん。

先日、上映が終了した名作「イル・ポステイーノ」では初めてご覧になる若い方から、懐かしいな、という方たちも。大変好評でした。さてお次は1989年ミニシアターに大旋風を巻き起こした「バグダット・カフェ」がスクリーンに。お正月はヴェネチア国際映画祭で最優秀復元映画賞を受賞し北米、イタリア、フランスなど各国で上映されて日本へ凱旋上映の相米慎二監督「お引越し」「夏の庭」。「あのこと」の監督が描く注目の新作は「エマニュエル」、東京国際映画祭3冠受賞「敵」、メキシコで大ヒットの実話「型破りな教室」など、そして1月17日は阪神大震災から30年「港に灯がともる」。今年1年の感謝と映画を日常で見られる喜びを、そして2025年のキノをよろしく願いいたします。

シアターキノ 支配人 中島ひろみ

2024年ベスト10募集

2024年も、素晴らしい作品との出会いが数多くありましたね。

1年を振り返って、恒例のキノベスト10を、お客様の皆様にもご参加いただき、決めたいと思います。下記の要項を確認して、ご応募下さい。

★2024年1月1日～12月31日まで札幌で封切られた作品から、日本映画・外国映画それぞれベスト5本を選んで記入して下さい。映画館以外での自主上映なども対象になりますが、過去の封切り作品は対象外です。

★ご応募いただきました方の中から抽選で5名様に、シアターキノの招待券をプレゼントいたします。当選発表は、賞品の発送にて代えさせていただきます。

お名前

当選した時の招待券の送り先 〒

シアターキノ 狸小路6丁目 南3条グランドビル2F
☎011-231-9355 <http://theaterkino.net>



★ご応募の締め切りは1月11日(土)

【FAX 011-231-9356】・郵送または、直接キノへお持ちいただいても結構です。
ベスト10の発表は1月18日(土)頃キノに掲示する予定です。

	日本映画	外国映画
1位		
2位		
3位		
4位		
5位		
感想		